

## 来月の消費予報

# 夏休みやボーナス期の到来で、7月の消費意欲指数は前月比増も 2012年の調査開始以来の同月最低値に

株式会社博報堂(本社・東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は、20~69歳の男女1,500名を対象に「来月の消費意欲」を点数化してもらうなど、消費の先行きに関する調査を毎月実施。その結果を「来月の消費予報」として発表しています。

※6月1-9日に調査(詳細はP5)

2026年7月の消費意欲指数は46.3点。前月比では+2.2ptと上昇し、前年比では-0.5ptで横ばいとなりました。

### 7月の消費意欲指数



46.3点

【前月比】

【前年比】

+2.2 ポイント

-0.5 ポイント

■ : 前月比/前年比で上昇 ■ : 前月比/前年比で下降

「消費意欲が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(7月)の消費意欲は何点くらいですか?」と質問。

### カテゴリー別 消費意向

【前月比】

【前年比】



食品



飲料



外食



ファッション



日用品



旅行



レジャー



車・バイク



理美容



化粧品



インテリア



PCタブレット



装飾品



書籍・エンタメ



家電・AV



スマホ・携帯



食品



飲料



外食



ファッション



日用品



旅行



レジャー



車・バイク



理美容



化粧品



インテリア



PCタブレット



装飾品



書籍・エンタメ



家電・AV



スマホ・携帯

★ UP : 前月比/前年比で20人以上増加 ● DOWN : 前月比/前年比で20人以上減少

「来月(7月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスがありますか?」という質問に「ある」と回答した人により、具体的に「買いたいモノ・利用したいサービス」を選んでもらった結果を前月/前年と比較して作成。

## 7月のポイント

### Point1 夏らしい意欲は高まるも、長引く物価高で消費意欲は男性を中心に前年比減

夏休みやボーナス期を迎える7月は、例年消費意欲指数が高まる月で、今年も前月から+2.2ptと上昇しました。前年比では-0.5ptと横ばいですが、男女別で見ると、男性-1.9pt、女性+1.0ptと、男性での低下が目立ちます。この男性の落ち込みが大きく影響し、7月としては2012年の調査開始以来の同月最低値となりました。

消費意欲指数の理由(自由回答)をみると、前月と比べて、消費にポジティブな回答(6月263件→7月365件)は増加し、ネガティブな回答(6月983件→7月851件)は減少しています。具体的には、ポジティブな回答で、「(夏休みがあるから・夏服が欲しいなど)季節的な意欲向上(6月51件→7月102件)」「(ボーナスなどで)金銭的に余裕がある(6月33件→7月64件)」が増加しました。ネガティブな回答では、「暑い季節は出かけたくない(6月2件→7月46件)」が増加した一方で、「今月までに多く使ったのでセーブ(6月126件→7月59件)」「金銭的な理由で節約・我慢(6月231件→7月169件)」が減少しています。

前年と比べると、消費にポジティブな回答(25年7月349件→26年7月365件)、ネガティブな回答(25年7月879件→26年7月851件)はともにほぼ横ばいとなりました。具体的には、ポジティブな回答において、「(夏休みがあるから・夏服が欲しいなど)季節的な意欲向上(男性:25年7月31件→26年7月28件、女性:25年7月47件→26年7月74件)」が女性でやや増加していますが、男性では横ばいです。ネガティブな回答では、「金銭的な理由で節約・我慢(25年7月195件→26年7月169件)」が全体でやや減少しています。

また、「物価高・値上げ・円安」は、前月比・前年比ともにほぼ横ばいとなっており、依然として高い水準が続いています(25年7月152件→26年6月152件→26年7月171件)。

7月らしく夏休みやボーナス期に向けた意欲は前月から上昇したものの、前年からは男女差があり男性で低下しています。そこに長引く物価高の影響が被ることで、消費意欲は男性を中心に例年ほど高まりきらないことが予想されます。

### Point2 消費意向は、「飲料」など複数カテゴリーで前月比・前年比増

「特に買いたいモノ・利用したいサービスがある」人の割合は27.4%で、前月比で+1.2ptと上昇しました。前年比では、+0.4ptと横ばいとなっています。

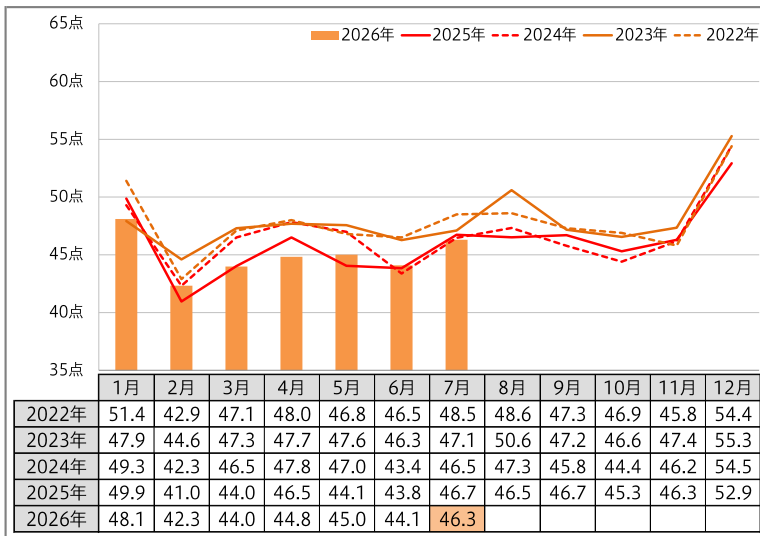
16カテゴリー別の消費意向をみると、前月比では「飲料」「書籍・エンタメ」「インテリア用品」が20件以上増加しました。前年比では「化粧品」「飲料」が20件以上増加しています。消費意欲指数は同月最低値ですが、夏休みやボーナス期に向けて、複数のカテゴリーで消費意向が高まりそうです。

消費意欲指数

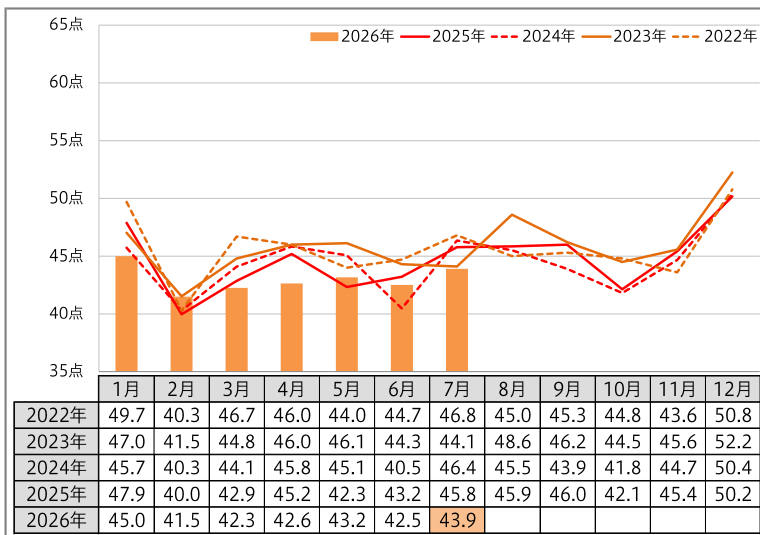
■ 時系列グラフ

Q. 消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(7月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)

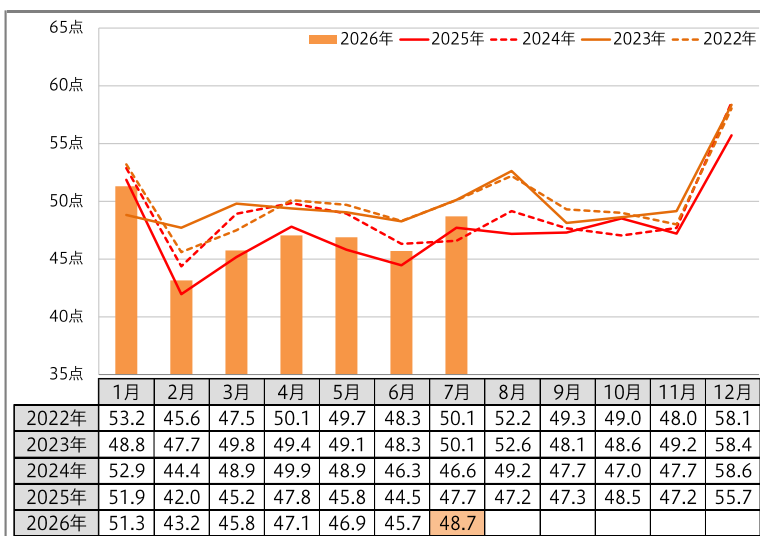
【全体】



【男性】



【女性】



## 消費意欲指数

## ■ 性別/年代別比較

(pt)

	(点)						26年7月比較	
	26年2月	26年3月	26年4月	26年5月	26年6月	26年7月	前月比	前年比
全体	42.3	44.0	44.8	45.0	44.1	46.3	+2.2	-0.5
男性	41.5	42.3	42.6	43.2	42.5	43.9	+1.4	-1.9
女性	43.2	45.8	47.1	46.9	45.7	48.7	+3.0	+1.0
20代	46.4	46.5	47.8	49.4	43.4	48.1	+4.7	-1.4
30代	43.6	44.6	47.5	46.9	45.7	48.5	+2.7	-0.7
40代	42.7	47.0	44.5	43.4	43.4	47.9	+4.5	+1.4
50代	40.2	41.1	42.0	44.3	44.0	44.8	+0.8	-0.5
60代	39.9	41.4	43.9	42.2	44.0	42.8	-1.2	-1.3

※調査では小数第2位まで集計していますが、本稿は小数第1位まで(小数第2位を四捨五入)を表示しているため、点数差は見た目の数値と異なる場合があります。

+3pt以上の増加

-3pt以上の減少

Q. (消費意欲の点数について)あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

<生活者の声～消費意欲指数の理由～【(夏休みがあるから・夏服が欲しいなど)季節的な意欲向上]>

- ・夏になり欲しいものがあつたら新しい服などを購入したいなと思ったので(50点・男性22歳・愛知)
- ・特に大きな出費をしたい欲はないが、夏休みに子どもと遊びたい(50点・男性33歳・東京都)
- ・子どもの夏休みと自身の誕生日があるため(80点・男性43歳・大阪府)
- ・夏用の服やサンダルなどを買わないと(50点・男性56歳・東京都)
- ・できれば3泊程度の旅行を2回くらいしたい。それに伴い、アクティビティや洋服の購入など検討している(90点・男性64歳・兵庫県)
- ・子どもが夏休みに入るため、様々なサービスを利用したり子どもと一緒に楽しめる商品を買いたいと思うから(70点・女性27歳・千葉県)
- ・夏のセールがあるから子どもや自分の服を買いたいと思っている(80点・女性34歳・愛知県)
- ・子どもたちの夏休みに入り、遊んだり買い物に行ったりすることが増えそうだから(80点・女性44歳・神奈川県)
- ・夏祭りに出かける予定があるため(70点・女性58歳・愛知県)
- ・ここ最近あまり物欲がないけれど、本格的に暑くなる7月は冷たいデザートや飲みもの、新しい日傘や涼しく着られるインナーやアウターなど消費意欲がやや上がりそうな予感がするから(70点・女性61歳・兵庫県)

<生活者の声～消費意欲指数の理由～【(ボーナスなどで)金銭的に余裕がある]>

- ・7月に夏のボーナスが入り、欲しいものを買えるから(80点・男性26歳・愛知県)
- ・欲しいものがここ数ヶ月でMAX状態に高まっており、7月はボーナスが支給されるので一気に購入を考えている(100点・男性36歳・埼玉県)
- ・ボーナス月で、欲しいものもたくさんあるので(100点・男性43歳・大阪府)
- ・ボーナスが出るため(60点・男性50歳・愛知県)
- ・賞与が入るのを見越して(80点・男性63歳・千葉県)
- ・ボーナスがあるから(99点・女性27歳・千葉県)
- ・ボーナスが入るので、欲しいものをたくさん購入したいから(100点・女性34歳・愛知県)
- ・7月はボーナスも入り自分の誕生日でもあるので自分へのご褒美で少しでも贅沢をしたい(60点・女性47歳・神奈川県)
- ・6月末にボーナス支給があるので、何か買ったりおいしいものを家族で食べに行ったりしたい気持ちがあるから(90点・女性53歳・大阪府)
- ・主人のボーナス月なので、何か買いたい意欲が出そう(70点・女性61歳・兵庫県)

( )内点数:消費意欲指数

## 補足資料③

### 特に買いたいモノ・サービス

#### ■ 特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人の割合

Q. あなたが来月(7月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)

	2026年7月(%)	前月比(pt)	前年比(pt)
全体	27.4	+1.2	+0.4
男性	26.4	+2.8	-0.2
女性	28.4	-0.4	+1.0

#### ■ 買いたいモノ・利用したいサービス

(特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人ベース)

Q. 特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

#### 【全体】(411人)

順位	カテゴリー	7月 (人数)	前月比	前年比
1	食品	193	+ 4	+ 2
2	ファッション	184	+ 8	-16
3	旅行	167	+19	-15
4	外食	166	+ 1	- 5
5	飲料	159	+29	+23
6	書籍・エンタメ	133	+26	+17
7	化粧品	125	+ 5	+25
8	レジャー	109	+ 3	-16
9	日用品	105	+12	+18
10	理美容	104	+ 6	+17
11	家電・AV	82	+10	- 3
12	インテリア用品	56	+25	+ 3
13	装飾品	51	- 2	- 2
14	パソコン・タブレット・周辺機器	49	+ 6	- 3
15	スマートフォン・携帯電話	47	+ 5	+ 4
16	車・バイク	38	+ 4	- 2

<全体にのみ下記基準で色付け>

:前月比/前年比で20人以上増加

:前月比/前年比で20人以上減少

#### 参考：男性(200人)

順位	カテゴリー	7月 (人数)	前月比	前年比
1	食品	91	+13	+10
2	旅行	84	+19	- 7
3	飲料	82	+33	+11
4	書籍・エンタメ	78	+24	+14
4	外食	78	+14	- 3
6	ファッション	66	+ 4	-16
7	レジャー	58	+ 8	-12
8	家電・AV	50	+10	- 4
9	日用品	44	+17	+11
10	パソコン・タブレット・周辺機器	38	+10	- 2
11	理美容	36	+16	+ 9
12	車・バイク	32	+ 4	+ 1
13	スマートフォン・携帯電話	28	+ 6	- 4
14	インテリア用品	26	+16	+ 8
15	化粧品	24	+ 6	+ 3
15	装飾品	24	+ 1	+ 3

#### 参考：女性(211人)

順位	カテゴリー	7月 (人数)	前月比	前年比
1	ファッション	118	+ 4	± 0
2	食品	102	- 9	- 8
3	化粧品	101	- 1	+22
4	外食	88	-13	- 2
5	旅行	83	± 0	- 8
6	飲料	77	- 4	+12
7	理美容	68	-10	+ 8
8	日用品	61	- 5	+ 7
9	書籍・エンタメ	55	+ 2	+ 3
10	レジャー	51	- 5	- 4
11	家電・AV	32	± 0	+ 1
12	インテリア用品	30	+ 9	- 5
13	装飾品	27	- 3	- 5
14	スマートフォン・携帯電話	19	- 1	+ 8
15	パソコン・タブレット・周辺機器	11	- 4	- 1
16	車・バイク	6	± 0	- 3

※男女別ランキングは、母数が少ないため参考値

## 調査概要

### ■ 質問項目(質問文)

#### [消費意欲指数]

消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(7月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)

また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

#### [特に買いたいモノ・利用したいサービス]

あなたが来月(7月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)

特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

**調査概要** 生活総研が、生活者の気持ちの変化を読み解くために、生活に関する意識を指数(100点満点評価)で回答してもらうものです。

**調査地域** ①首都40km圏 ②名古屋40km圏 ③阪神30km圏

**調査対象者** 20～69歳の男女

**対象者割付** 調査地域①～③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付

**調査人数** 合計1,500人

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	123	137	163	193	141	757
女性	119	134	159	190	141	743
合計	242	271	322	383	282	1,500

**調査方法** インターネット調査

**調査時期** 2026年6月1日(月)～9日(火) (2012年5月から調査開始/毎月上旬に実査)

**調査機関** QO株式会社

<備考>

・「来月の消費予報」は、毎月下旬に翌月の消費意欲指数を発表いたします。

**問い合わせ先** 博報堂生活総合研究所(加藤・近藤) seikatsusoken.info@hakuodo.co.jp  
株式会社博報堂 広報室(河村・大貫) koho.mail@hakuodo.co.jp

**データ公開** 2012年5月から最新月までの「消費意欲指数(点)」と「特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人の割合(%)」について、調査データをご希望の方は生活総研サイトの「お問い合わせ」よりご連絡ください